

# 緩和ケアだより

松江市立病院 緩和ケア病棟広報誌

2021  
vol.  
31



 松江市立病院 緩和ケア病棟

題字デザイン：Katsuto Nagira

## 緩和ケア病棟の理念

緩和ケアとは、苦痛の緩和を必要とする悪性疾患の患者とその家族のQOL（人生と生活の質）を改善することです。

当院緩和ケア病棟では、患者やその家族の想いを可能な限り尊重し、その人らしい生活を送ることができるように、さまざまな専門家とボランティアがチームとして支えます。

## 基本方針

1. 痛みやその他の苦痛となる症状を緩和します。
2. 患者さんがその人らしく生きることができるように支えます。
3. 無理な延命や意図的に死を招くことはしません。
4. 病気の早い段階から適用し、積極的な治療に伴って生ずる苦痛にも専門性をもって対処します。
5. 患者さんの希望に沿い、在宅への支援を行ないます。
6. 患者さんの療養中から死別した後に至るまで、家族が様々な困難に対処できるように支えます。



# CONTENTS

---

● Message 『1日1日を大切に』	1・2
● 今回のミドコロ～クリスマス～	3・4
● 季節の行事	5・6
● 徒然日記	7

---





がん看護専門看護師  
米村 智子

# 1日1日を大切に

昨年の4月から緩和ケア病棟で勤務しております、がん看護専門看護師の米村と申します。以前勤務していた病院では、がん患者さんの治療意思決定のご相談を承ったり、ご自宅や緩和ケア病棟への療養をつなぐお手伝いをしていました。その頃は、「あの患者さんは緩和ケア病棟でどう過ごされているかな。」といつも気になっていました。ですから、今この場所で働くこと、微力ですが患者さんのお手伝いをできることがとても貴重だと実感する毎日です。

緩和ケア病棟入院時にお渡ししている「1日1日を大切に」というパンフレットがあります。その中では、身体や気持ちのつらさを和らげるといった心地よい過ごし方についてはもちろんのこと、緩和ケア病棟から自宅へ、そしてまた自宅から緩和ケア病棟へ、という過ごし方の提案もさせていただいています。私は、今、“1日1日を大切にすること”、それをあらためて考えさせられることと感じています。

## 「今すぐ家に帰りたい。」

ある患者さんから「今日家に帰る。今日じゃないとだめだ。」と言われました。一時退院へ向け、介護環境や訪問診療・訪問看護などを準備中の患者さんでした。私は、準備ができてから帰りましょう、と説得に走りまわりました。患者さんは「自分が帰ると決めたんだから準備はなくていい。その気持ちに沿うのがあなた方の仕事でしょう。」と答えられました。

## 1日の大切さ

患者さんにとっての“1日の大切さ”を私はわかっていたのだろうか？と振り返りました。患者さんが病や症状と対峙しながら、病室で考えることは、今をどう過ごすかという1日の大切さではないでしょうか。「今日退院できないと意味がない」と言われていた患者さんにとって、今帰ることの意味やその思いを聴くこと、準備の進行状況を日々伝えながら目標を共有することが必要だったのかもしれない。

もちろん、在宅療養は現実として人的・物的環境を整えることが必須であり、患者さんの“今”という思いに完全に沿えないこともあります。地域連携室の相談員や在宅スタッフと共に、できる限り希望を叶えられるように取り組んでいます。

### 過ごし方を一緒に考えていくこと

ご自宅に戻ることに限らず、私たち病棟スタッフは、みなさんにとって緩和ケア病棟をご自身の家のように過ごしていただけるように日々取り組んでいます。

緩和ケア病棟での生活を、音楽と語らいの時間で楽しんでいる A さん、ご家族との時間を大切に寝起きを共にされている B さん、リハビリを目標に一時退院を繰り返す C さん。様々な過ごし方があってよいのだと思います。緩和ケア病棟に入院したその時から、どう過ごしていきたいのかを一緒に考え、多職種で創意工夫し、少しでも患者さんにご家族にとっての豊かな 1 日 1 日を“大切に”支えていきたいと考えておりますので、引き続きよろしくお願いたします。



今回の  
ミドコロ

# クリスマス

令和2年12月17日 クリスマス会が行われました。コロナ禍の中、細心の注意を払いながら、いつもはラウンジで飲んだり食べたり笑ったりで賑やかなのですが、今回は初めての飲食無し。終会后にお部屋に戻ってからのおやつタイムとなりました。しかしながら仮装隊は気合が入っています！



雪だるまトリハピリスタッフの「出雲弁ラジオ体操」



ピアノとフルートでミニコンサートしまーす



安部先生のあいさつ



中右先生の華麗なピアノ演奏！



中右先生お綺麗ですー



近くで見るとインパクト大！



打ち合わせ前の風景



研修医の先生。サンタさんも大事な仕事です！



よし、じゃあ俺も体操しよう。



栄養士さん手作りのおやつ



踊るトナカイ出現

必死に笑いをこらえて演奏中



いん〜い！



仮装大会みたいになつてますが記念に一枚♪





# 月見会

令和2年9月17日

新型コロナウイルスの影響で御家族には参加していただかず、ちょっと寂しい感じでしたがそこは職員で盛り上げました。



栄養士さん、いつもありがとうございます。



態度はでかいですが、優しい師長です。



わかりにくいかもしれませんが、三日月です。



恒例のボランティアさんの手作りカード



夕ヌキとウサギのカチカチ山です。



今日の司会たち。



新型コロナウイルスがまだまだ猛威を振るう中、御家族とも中々自由に面会が出来ない状態のみなさんに少しでもお正月を味わい、楽しんで頂ければと、スタッフ一同で頑張りました！



# 新春の宴

令和3年1月14日



はいっ！いつもより多めに回しております！

いよっ！



今年の干支ですが、なにか

そうです、岩下先生です。



ピアノとフルートによる「春の海」



安部先生の今年の漢字





節分

令和3年2月3日

今年は暦上、2月2日でしたがこちらでは3日に行いました。師長さんと岩下先生の鬼、そしてボランティアさんが福の神をしてくれて、厄を払うことができました。



ボランティアさんが福の神!



BGMをひいてくれる  
中右先生



豆いっぱいあるよ~



結構思い切り  
投げてる患者さん



各部屋もまわりました



豆まいたさきから  
ボランティアさんがお掃除♪



おつかれさま~



いつも身体張って  
ますね師長さん!



鬼と福



桃の節句

令和3年3月4日

岩下先生扮する『おだいらさま』と、和田看護師長が扮する『おひなさま』がみんなを笑わせていました。そして久しぶりの安部先生のハーモニカ演奏に、患者さんもご家族の方もとても喜んでいました。



スタッフ皆で  
「うれしいひなまつり」を歌います



ボランティアさんが  
作ってくれたお雛様。



トリオデュオ!



今年もボランティアさんに  
飾っていただきました!



甘酒と豆腐白玉しるこ♪



安部先生ハーモニカも  
お上手です~♪



お内裏様とお雛様。  
三人並んで...?

# 徒然日記



熱帯魚のベタ。  
優雅に泳いでます



他科の先生と立ち話



色分けされた数字を  
塗りつぶしていくと...?



診察お疲れ様です



あっ、トコロだ!



患者さんがゆずの砂糖漬けを  
つくってくれました



花札



今年もあとわずか



患者さんの折った連鶴



今日も忙しそう

## 編集後記

新型コロナウイルスが日本に上陸して、あっという間に1年が過ぎました。日本は『新しい生活様式』が浸透し、ワクチンの接種も始まりました。各地で緊急事態宣言が出され、少しずつ患者数が減少していく中、特に首都圏はいつ緊急事態宣言を解除するのかでまだもめているようです。島根県でも少しずつ患者数が減少し、感染者ゼロの日も増えてきました。これからどうなっていくのか、まだまだ予断が許されない中、外出はもちろん、面会もかなわない患者さんや御家族ばかりの中、我々には何ができるのでしょうか。今まで普通におこなってきたことがどれだけ恵まれていたのか、失ってはじめてわかることばかりです。

と、ついついコロナの話題で暗い雰囲気になってしまいがちですが、ユーモアは忘れずにいきたいものです。うちの病棟の看護師長のように！

西 紫

編集  
委員会

編集長：安部 睦美  
校正：岩下 智之、和田 祥恵  
編集・写真：西 紫

令和3年3月 発行

松江市立病院 緩和ケア病棟

〒690-8509 島根県松江市乃白町32-1

TEL : 0852-60-8000 (代表) / FAX : 0852-60-8005 (総務)



松江市立病院  
MATSUE CITY HOSPITAL